

みたちヨ 防災・避難誘導アプリ

災害時に活用

「みたちヨ」とは

ARシステム(現実の風景に情報を重ね合わせて表示する技術)を使用して避難所の位置を表示する機能を有しており、迷わず避難所まで誘導することができます。しかし、災害時を想定しての、カーナビのようなシステムを搭載していません。建物の倒壊や液状化など、本来道だったところが道でなくなっている可能性があり、災害時はパニックに陥りかねない環境の中、曲がれないところを曲がるよう指示するのは、よりパニックを引き起こす原因になるため、現実の風景に情報を重ね合わせて避難誘導ができることは、とても有用であるといえます。



備写真はイメージです。

避難所までの距離の目安を表しています。



災害時にきちんと使えるのでしょうか

情報通信網が途絶していても使用できます。大規模災害時には、インターネット回線が完全に途絶してしまったり、あるいは、途絶していなかったとしても、市民などが一斉にインターネット回線を使用しようとすると、サーバーがパンクする可能性があります。「みたちヨ」は、避難所情報をアプリにあらかじめ反映しているため、回線を一切必要としません。また、現在地はGPSで測位するため、災害の影響を受けることはありません。

アプリの使い方は、市ホームページをご覧ください。

住まいの地震対策は大丈夫!?

大地震により、古い木造住宅の多くが大きな被害を受けると想定されています。

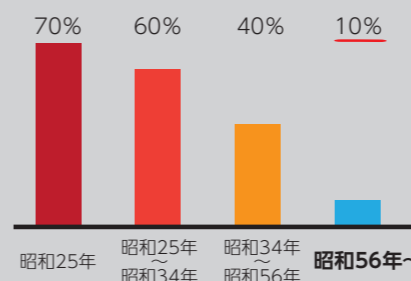
市では、昭和56年以前に建築された木造住宅を対象に耐震化補助金制度を設けています。

問 住宅まちづくり課

TEL 06-6992-1708

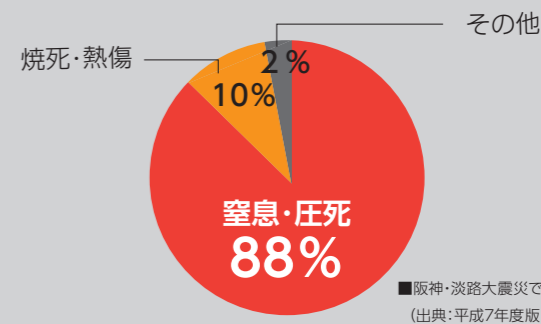
倒壊した木造住宅の多くは昭和56年以前に建築されたものでした

■阪神・淡路大震災における木造住宅(在来工法)の倒壊率



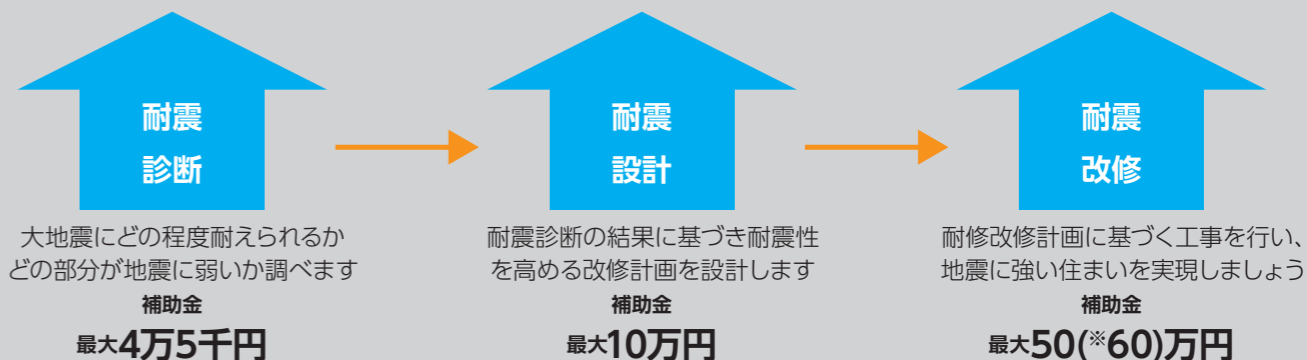
昭和56年6月に建築基準法の改正(耐震基準の強化)が行われ改正後の住宅に比べ改正前の住宅の耐震性能が低いことが表れています。

地震被害での死亡者の多くは家屋の倒壊などによる圧死でした



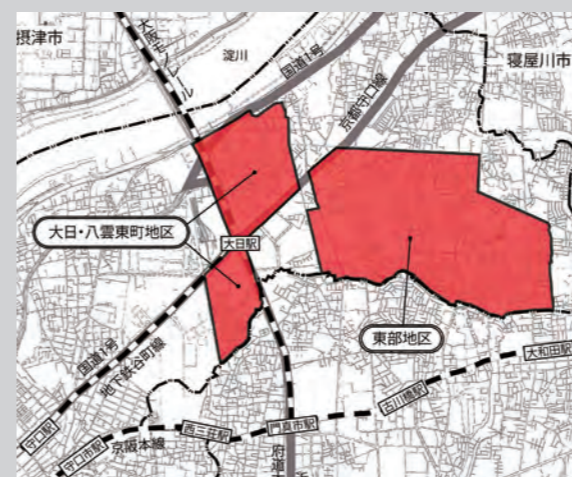
阪神淡路大震災では瞬時に住宅が倒壊し、その下敷きにより亡くなった人が死亡者数の全体の約9割を占めました。

住まいの安全補助金を利用して耐震化



※収入により補助金額が変わります。

災害に強いまちづくりを進めています



■対象区域図

老朽木造賃貸住宅除却等助成

密集住宅市街地の住環境の改善や防災性の向上を図るため大日・八雲東町地区(佐太中町1丁目・大日町2~4丁目・八雲東町2丁目)東部地区(佐太東町1丁目・金田町1丁目・大久保町1~3丁目・梶町1~4丁目・藤田町1~5丁目)において老朽木造賃貸住宅の建替・除却の一部助成等を行っています。当地区で老朽木造賃貸住宅の建て替えや除却を検討されている人はぜひ相談してください。

注 耐震・密集事業に関する詳しい内容は、住宅まちづくり課まで問い合わせください

問 危機管理室

TEL 06-6992-1497